

笑顔で暮らせる地域づくりを



9月は「世界アルツハイマー月間」

認知症について知ろう

毎年9月21日は「世界アルツハイマーデー」と定められており、9月の1か月間を「世界アルツハイマー月間」として、認知症の普及啓発活動が世界中で行われています。

認知症とは

さまざまな原因で脳の働きが悪くなり、記憶力や判断力等が低下し、日常生活に支障をきたしている状態を言います。



す。誰もがなり得る可能性があります。多くの方にとって身近なこととなっています。

認知症になっても住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるように、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を地域で支えていきましょう。

認知症サポーターとは

認知症サポーターは、認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の方や家族に対して、できる範囲での手助けをする応援者のことです。町では、平成22年度から認知症サポーター養成講座を開始し、令和6年度までに2,440人の方が認知症サポーターとなっています。

申岡福祉課介護班 ☎(84)1257

地域包括支援センター ☎(80)3339

小学生の認知症サポーターが誕生しています

7月に光小学校・上堺小学校の4年生を対象に、認知症サポーター養成講座を開催し、71人の認知症サポーターが誕生しました。

認知症についての基礎知識や認知症の方への接し方等を寸劇等により体験し、学びました。最後に、「困っている人がいたら優しく声をかけた」「道に迷っていたら家まで案内したい」等、小学生が優しく認知症の方に接したいという思いやりのある言葉を葉っぱに記入してもらい、その葉っぱをたくさん紙に貼り「おもいやりの木」が完成しました。

認知症簡易チェックサイトをご活用ください

「物をしまい忘れる・同じ話を繰り返す・知っている人の名前が出てこない」などはありませんか。

自分や家族が認知症かどうかをチェックできる「認知症簡易チェックサイト」を、町ホームページに掲載しています。

《2つの簡易チェック》

①家族や身近な人のチェック「これって認知症？」

家族や身近な方が、6項目20問の質問に答え、認知症のリスクを確認。

②自分の状態のチェック「わたしも認知症？」

10問の質問に答え、ご自身の状態をチェック。

※個人情報の入力不要で、利用料は無料です。

(通信料は自己負担)

認知症簡易チェックサイトはこちら→



9月3日(水)～10月5日(日) 図書館に認知症特設コーナーを設置

①「おもいやりの木」を掲示

小学生の認知症サポーター養成講座で作成した「おもいやりの木」を、図書館ロビーに掲示します。また、認知症に関する資料を無料配布します。

②認知症に関する図書の紹介

認知症に関する図書の特設コーナーを設置しています。認知症についての知識を深めるためにも、この機会にぜひ、図書館にお越しください。



昨年度の特設コーナー